

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和6年8月20日
千葉県農林水産部
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

アメダス（佐倉市）では、7月から8月上旬にかけて、平均気温、日照時間ともに平年を上回って推移しました。降水量は平年を下回って推移しており、地域による差も大きいことから、ほ場によっては乾燥状態となり、空さやの発生や子実の充実不足の恐れがあります。その後、台風7号により約30mm（県北部）～約170mm（県南部）の降雨がありました。

8月10日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、5月から続く高温・多照により、平年と比較して、生育が進んでいることから開花期が早くなっており、分枝長は長く、地上部乾物重も大きくなっています。さや実の生育についても、平年に比べてさや数が多く、さや乾物重が大きい傾向です。

表1 作況調査成績（8月9日調査）※対比は日数、又は平年比

品 種 名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや 重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立	本年	6/3	7/10	2288	453	95	374	48	42
	平年	5/28	7/8	2339	389	99	342	48	40
	対比	(6)	(2)	98%	117%	96%	110%	99%	105%
ナカテユタカ	本年	5/18	6/26	2046	383	181	580	145	33
	平年	5/20	6/30	1837	339	164	554	123	35
	対比	(-2)	(-4)	111%	113%	111%	105%	119%	96%
Qなつつ (千葉P114 号)	本年	5/31	7/7	2233	457	202	718	131	49
	平年	5/30	7/6	2093	371	143	506	73	44
	対比	(1)	(1)	107%	123%	142%	142%	181%	111%
おおまさり ネオ	本年	5/25	7/1	3111	559	125	535	66	53
	平年	5/22	7/2	2446	498	151	618	92	42
	対比	(3)	(-1)	127%	112%	83%	87%	72%	126%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は千葉・長生地区、「Qなつつ」は印旛・香取・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

* 平年値は、ほ場変更がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は過去3年間の平均値との比較値。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

表2 落花生研究室（八街市）の作況（本年の値、8月9日調査）

は種日	品 種 名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月19日 (標播)	千葉半立	6/28 (-1)	3,116 (125%)	592 (119%)	219 (187%)	633 (187%)	102 (232%)	54 (128%)
	ナカテユタカ	6/26 (-1)	2,348 (132%)	467 (133%)	259 (140%)	805 (147%)	167 (193%)	47 (142%)
	Qなつつ	6/27 (-2)	2,383 (135%)	464 (134%)	250 (135%)	692 (126%)	135 (163%)	58 (144%)
	おおまさりネオ	6/26 (-1)	3,022 (146%)	567 (134%)	239 (177%)	614 (153%)	108 (192%)	51 (138%)
6月8日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-5)	2,732 (149%)	451 (128%)	74 (195%)	286 (218%)	35 (227%)	47 (136%)
	ナカテユタカ	7/9 (-4)	2,374 (164%)	415 (144%)	137 (150%)	490 (157%)	71 (178%)	45 (148%)
	Qなつつ	7/11 (-4)	2,151 (150%)	385 (135%)	133 (155%)	485 (164%)	73 (195%)	49 (144%)
	おおまさりネオ	7/9 (-5)	2,737 (153%)	480 (137%)	72 (133%)	208 (136%)	37 (185%)	45 (138%)

注1) 栽植密度は5,128株/10a
 2) 無かん水条件
 3) カッコ内は、令和元年～令和5年の平均値対比を示す

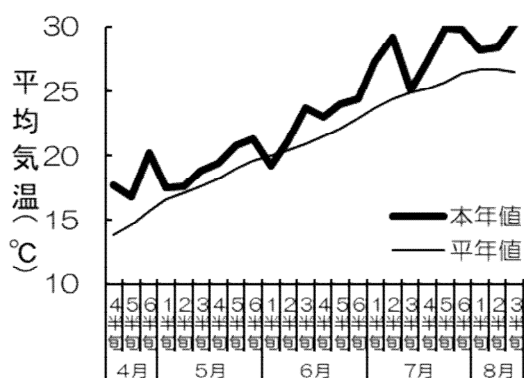


図1 気温の推移（アメダス、佐倉）

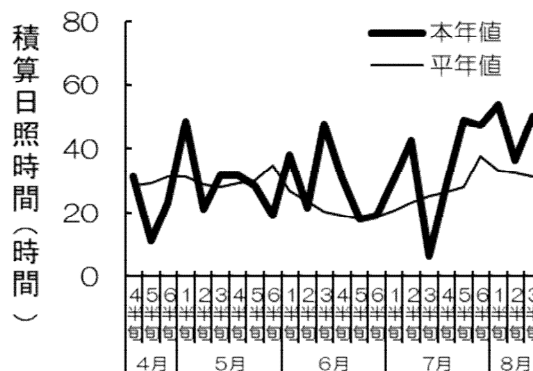


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

表3 アメダス地点別降水量（mm）

地点	7月			8月	合計
	上旬	中旬	下旬	上旬	
千葉	3	103	64	22	191
茂原	1	67	45	8	121
牛久	3	84	27	0	114
銚子	6	85	2	18	110
館山	7	96	0	0	103
大多喜	5	68	15	0	88
佐倉	5	47	15	7	73
木更津	8	52	0	6	66
香取	4	43	8	0	55
横芝光	4	32	14	1	50

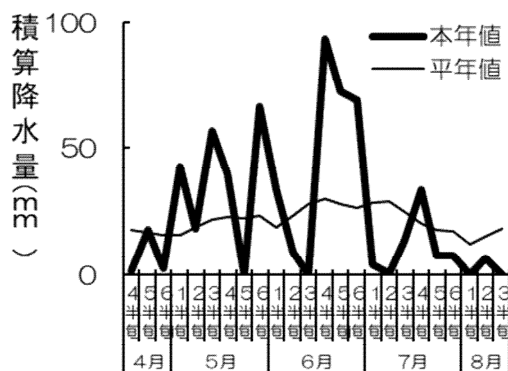


図3 降水量の推移（アメダス、佐倉）

2 これからの管理のポイント

(1) 病害虫防除

1) 発生状況

7月の高温乾燥の影響で茎腐病の発生が見られました。また、8月に入って、白絹病の発生がやや多くなっています。

2) 今後の対策について

降雨やかん水による高温・多湿での白絹病の発生が懸念されます。薬剤散布だけでは十分な効果が望めない場合は、罹病株を株元の土ごと除去し、被害の拡大を防止しましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

表4 防除薬剤

病害虫名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで／2回
褐斑病・黒渋病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで／4回
白絹病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回



褐斑病



白絹病

(2) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ ほ場が冠水した場合は、莢の腐敗を防ぐために速やかに排水する。

ウ 台風後に病害が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表4を参考に殺菌剤を散布する。

(3) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、**砂地のほ場では地温が高くなりやすく、収穫時期が早まる傾向**にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなっつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表5 開花期からの掘取時期の目安

千葉半立	ナカテユタカ	Qなっつ	おおまさりネオ
95日後	80日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)

表6 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月19日	6月28日	10月1日
	6月11日	7月11日	10月14日
ナカテユタカ	5月19日	6月26日	9月14日
	6月11日	7月9日	9月27日
Qなっつ	5月19日	6月27日	9月15日
	6月11日	7月11日	9月29日
おおまさりネオ	5月19日	6月26日	9月19日
	6月11日	7月9日	10月2日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなっつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。

